

～AED編～

1人でも多くの命を救うため エレクトロニクスで病魔に挑戦

今回のパートナー企業 日本光電工業株式会社様



壁面固定タイプのケースに収納したAED

テルウェル東日本が手がける事業には、さまざまなパートナー企業とのアライアンスのもとでお客様に提供しているものがあります。「BUSINESS NOW」のコーナーでは、そんなパートナー企業に取材して、事業をめぐる動向やビジネスのヒントを伺います。今回は、大切な命を救うためにNTTビルなどで設置が進むAEDの販売事業でテルウェル東日本とアライアンスを組む、日本光電工業株式会社(以下、日本光電)様にお話を伺いました。

国産AEDをいち早く開発 トップシェアを維持

公共施設やオフィスビルなど人の多く集まる場所で見かける「AED(自動体外式除細動器)」。けいれんを起こし、血液を流すポンプ機能を失った状態(心室細動)に陥った心臓に電気ショックを与えて、正常なリズムに戻すための医療機器です。
119番通報から救急車到着までの平均時間は約8分。しかし、電気ショックの成功率は1分ごとに約7～10%低下します。一刻も早い救命処置のため、一般市民にもAEDの使用が認可されたのは、今からおよそ10年前、2004年のことでした。当初は外国製しかなかったAEDの自社開発にいち早く取り組み、2009年に販売開始したのが、日本光電様でした。現在も国産AEDを製造・販売する唯一のメーカーとして、国内トップシェアを維持しています。その信頼を支えているのは、世界でも高シェアを誇る脳波計をはじめ、120カ国以上の医療現場に医用電子機器を提供してきた同社の技術力です。

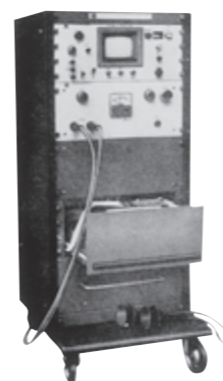
医療機器を世界に広め 限らない人々に貢献したい

日本光電様の設立は1951年。創業者の故荻野義夫氏は、電子工学のエンジニアであると同時に医学博士でもありました。「1人の医者が病気を治せる人の数は限られている。しかし、医療機器ならそれを世界に広めることで、限らない人々に貢献



日本光電工業株式会社
執行役員 営業本部長
熊倉 昌彦様

「だかからこそ、『安心して使ってください』とお客様に自信を持って言い切れる。それ



日本初の直流式心房心室
細動除去装置 MDA-1

患者さんの命を預かる医療機器に必要な機能性や安全性・信頼性に責任を持つため、日本光電様では国産を重視。特に、製品全体の品質を左右するセンサーやプリント基板などは自社開発・生産にこだわっています。

「だかからこそ、『安心して使ってください』とお客様に自信を持って言い切れる。それ

救命率向上という 社会的使命を果たすために

AEDによる救命率を上げることが自社の社会的使命と考える日本光電様では、消防や自治体が主催する講習会に協力するなど、認知向上のための活動も積極的に取り組んでいます。また、従来の設置場所は夜間に閉鎖される場合が多いため、24時間開いているコンビニへのAED設置にも注力。費用面で自治体が、維持管理は消防が担当し

て、設置者であるコンビニの負担を減らすスキームで、成果も挙げています。

「当社ではAEDを組み込んだ飲料自動販売機をメーカーと共同開発もしています。自動販売機事業など幅広い事業を手掛けるテルウェル東日本様には、AEDをいっそう普及させるためのヒントをいただけたらと思っています(熊倉様)」「当社のディスプレイ付きAEDは、聴

NTTビルでのAED活用事例

2014年7月14日、NTT幕張ビル内のNTTコムウェア様オフィスで社員が倒れ、心肺停止状態になりました。

周囲の社員たちが119番通報等を行うとともに、胸骨圧迫(心臓マッサージ)とAEDによる緊急処置を実施。迅速対応のおかげで、倒れた社員は一命を取り留め、その後、順調に回復したそうです。

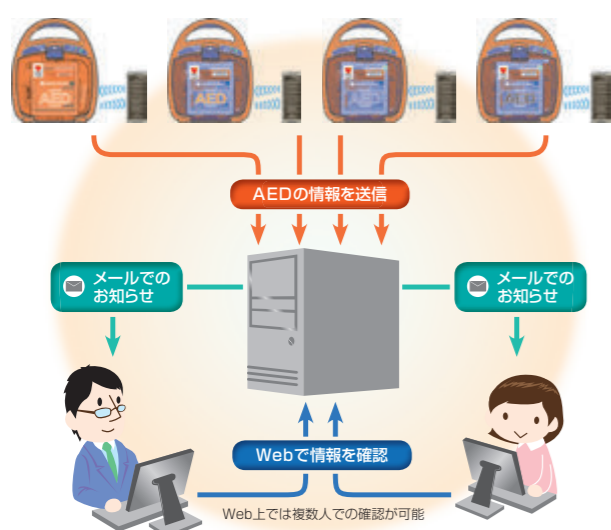
一般市民がAEDで除細動を行った件数は、平成24年で約1,800件。約45万台というAED販売累計台数に比べれば、使用率は小さなものですが、AEDによって救われた多くの命があることも事実です。NTTコムウェア様の事例は、AEDの大切さをあらためて教えてくれました。また機会があれば、AEDの使用法を含む救命救命講習もぜひ受講しておきましょう。

〈担当者コメント〉

NTTコムウェア株式会社
ネットワーク事業本部 営業部
統括課長 難波 行宏様

AEDを実際に使ったのは、初めてでしたが、心電図測定から電気ショックの判定までの一連が、AEDで実施されるため、抵抗無く使うことができました。結果的に2回の電気ショックが動作し、無事、蘇生させることができました。今回の対応を通して、日ごろからAEDの置き場を把握することが、恐れずAEDを使用することが重要であると認識しました。

AED Linkage 日本光電はお客様による日常点検をサポートします



AEDリモート監視システムの概要

「当社ではAEDを組み込んだ飲料自動販売機をメーカーと共同開発もしています。自動販売機事業など幅広い事業を手掛けるテルウェル東日本様には、AEDをいっそう普及させるためのヒントをいただけたらと思っています(熊倉様)」「当社のディスプレイ付きAEDは、聴

日本光電工業株式会社

1951年の設立以来、「エレクトロニクスで病魔に挑戦」をモットーに、医用電子機器のトップメーカーとして、世界中の医療現場へ医療機器を提供してきました。その活躍の場は、救急医療、在宅医療・介護、健康増進などの分野にも拡大。高齢社会の訪れや疾病構造の変化など時代の変化をとらえながら、人類共通の願いである「病魔の克服、健康の増進」に挑戦し続けています。



- 社名 : 日本光電工業株式会社
- 本社所在地 : 東京都新宿区西落合 1-31-4
- 資本金 : 75億4,400万円(2014年3月31日現在)
- 設立年月日 : 1951年8月7日
- 従業員数 : 1,957名(グループ35社4,495名)(2014年3月31日現在)
- 主な事業 : 医用電子機器の開発・製造・販売
- 公式サイト : <http://www.nihonkohden.co.jp/>

「誰でも、いつでも使えるよう
行き届いた配慮や工夫」

そんな日本光電様にとって、医療専門家ではなく一般市民に向けたAEDの開発は、新たな挑戦でした。

日本光電様のAEDの特徴の1つは、柔らかな丸みを帯びたデザイン。「電気ショック」という怖いイメージを抑え、慣れない人にも心理的抵抗感なく使えるようにと、技術者が苦心した成果だそうです。

また、AEDはふたを開けると電源が入り、音声ガイドに従って操作を行います。日本光電様ではさらに、液晶画面にイラストと文字で操作方法が表示される機種を

AED外観と
液晶画面(AED-2150)



耳の不自由な方にも使える
ことを示す「耳マーク」

「AEDを通じて1人でも多くの命を救いたい」という思いは、テルウェル東日本の願いでもあります。NTTグループをはじめとするお客様に向け、AEDの適正な配置とともに、定期的な講習会の開催をご提案するなどして、テルウェル東日本はこれからも、さらなる安心・安全な社会の実現に取り組んでいきたいと考えています。